【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2007-200639(P2007-200639A)
【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2007-030
【出願番号】特願2006-16026(P2006-16026)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　13/52　　(2006.01)
Ｈ０１Ｒ　13/42　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　13/52　　３０１Ｅ
Ｈ０１Ｒ　13/42　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
接続端子に設けた断面角筒形の係止部の後端にコネクタハウジングの端子収容孔内から突出したケースランスを係止して、前記接続端子を前記コネクタハウジング内に固定する電気コネクタにおいて、前記接続端子の係止部の断面を縦長形状とすると共に後方部に圧着した電線に挿着した防水シール材の防水機能部の外側を断面楕円形状とし、前記端子収容孔の端子入口部を断面楕円形状とし、前記縦長形状の係止部及び前記防水シール材の楕円長軸を前記端子入口部の縦長部に揃えて挿入することを特徴とする電気コネクタ。
【請求項２】
前記端子入口部は前記コネクタハウジングの後面に複数個配置し、隣接する前記端子入口部は縦長部方向を揃えて配列したことを特徴とする請求項１に記載の電気コネクタ。
【請求項３】
前記コネクタハウジングの前記後面を複数の区画に区分し、該区画毎に前記端子入口部の大きさが異なるようにし、挿入する前記接続端子の大きさが異なるようにしたことを特徴とする請求項１又は２に記載の電気コネクタ。
【請求項４】
前記コネクタハウジングの前記後面を複数の区画に区分し、該区画毎に前記端子入口部の縦長部の方向が異なるように、前記端子入口部を配列したことを特徴とする請求項１又は２に記載の電気コネクタ。
【請求項５】
前記防水シール材の内孔は断面円形として、防水機能を有する蛇腹部の外形を断面楕円形状としたことを特徴とする請求項１～４の何れか１つの請求項に記載の電気コネクタ。